

『鑄造工学』第 97 巻 12 号特集「鑄造 CAE の最前線」原稿募集

公益社団法人日本鑄造工学会 編集委員会

委員長 吉田 誠

湯流れ・凝固シミュレーションを中心とする鑄造 CAE(Computer Aided Engineering)は、鑄造方案のみならず製品そのものの設計、欠陥対策、変形や残留応力の解析、砂型造型のシミュレーションなど広範囲に展開しています。また最近では粒子法による新しい解析手法、熱応力解析や最適化ソフトとの連成、クラウドコンピューティングなども行われており、必要不可欠なツールになりました。鑄造工学第 86 巻において「鑄造シミュレーションパッケージソフト最前線」を特集しましたが、あれから 10 年を経過しました。

そこで編集委員会では、『鑄造 CAE の最前線』として、最近のコンピュータ事情に対応した最先端の鑄造 CAE 技術の特集号を企画しました。GPGPU やクラウドコンピューティングによる並列化技術、スーパーコンピュータを用いた高速計算など、パッケージソフトウェアの最新技術を誌上で技術報告として解説(レビュー)して頂き、読者の参考にして頂ければと考えています。また研究分野においては、新しい粒子法や機械学習を用いる技術なども登場しています。研究開発技術の論文投稿など積極的な投稿を期待しています。ご不明の点があましたら下記問合せ先までご連絡願います。

■特集テーマ : 「鑄造 CAE の最前線」(97 巻 12 号特集)

■貴殿への依頼原稿 : 技術報告、または研究論文

■依頼テーマ : 鑄造パッケージソフトウェアの技術解説、研究成果報告

■投稿期限 2025 年 7 月 31 日

■ページ数 : 4~5 ページ以内(図表を含む、26 字×25 行×4 枚=1 ページ)

■執筆の要領: 当会ホームページ(<https://jfs.or.jp>)にて投稿規程・原稿執筆要領をご確認ください。

■執筆に際してのご注意 :

- ① GPGPU 並列化、CPU 並列、クラウド並列、スパコン利用、ギガキャスト対応など、最新トピックスを、そして解析事例があれば是非提示してください。
- ② 技術的レビューを中心に執筆して頂きたく、例えば、「引け巣予測できます」ではなくて、「引けは、閉ループ法¹⁾、新山パラメータ²⁾により発生位置予測が出来ます」というように導入している技術や手法を明記して下さい。
- ③ 原稿は原則 4~5 頁(図表含む掲載頁数)でおまとめいただきますようお願いいたします。
- ④ 原稿は会誌編集委員会で校閲(研究論文は査読)を行います。広告色が強すぎると判断した場合は修正を依頼することがあります。

■本企画はカラー掲載でも対応します。

■送付先・問い合わせ :

公益社団法人日本鑄造工学会 編集委員会事務局

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-15-33 芝浦清水ビル 2 階

TEL : 03-6809-2303 FAX : 03-6809-2330 E-mail : jfs-henshu@jfs.or.jp